



対応ワークシート

「教えて しおぴい」を授業や自主学習で使うとき、ワークシートを活用することで子どもたちの学習が深まります。ワークシートの特徴とサンプルについて掲載します。

ワーク シートの 特徴

1 いろいろな教科で活用ができます

ワークシートは、二本掲載しています。高学年の児童が家庭科を中心に学べるように考えていますが、中学年や高学年の国語・社会・総合的な学習の時間等でも活用できるようにしています。

2 いろいろな場面で活用できます

ワークシートは、授業でも、日々の家庭学習や長期休業日中の自由研究等でも使えるよう、まとめ方の参考になる「タイトル」を掲載しています。

3 子どもの発想が広がります

ワークシートは、枠取りをした新聞形式にし、子どもたちの発想が生かせるようにしています。「教えて しおぴい」から疑問に思ったことを、本やインターネットで調べたり、直接お店に行ったり、家族にインタビューしたりして分かったことなどもまとめられるようにしています。

4 子どもの学びを深める教室掲示になります

ワークシートは、子どもたちの学習の成果として、完成後は教室等で掲示ができるようにしています。子どもたちが、掲示された友だちのワークシートに触れることで、自分のワークシートとの違いを考えたり、参考にしたりすることで、学びを深めることができます。

サンプルに ついて

○ワークシート1について

ワークシート1は、「教えて しおぴい」の内容に沿って順にまとめられるようにしたものです。各ページのねらいが、タイトルとして入れてあります。ワークシート1に沿ってまとめをすることで、「教えて しおぴい」を自主学習として、一人でも学べるようにしています。

また、授業で活用する場合は、ワークシート1を使うことで、決められた時間に効率よく学ぶことができます。

○ワークシート2について

ワークシート2は、中学年の子供たちが「教えて しおぴい」を使って学べるようにしています。「教えて しおぴい」を活用する学年・教科に応じて学習が展開できるよう、身の回りのマークの一つ「しお公正マーク」からワークシートがスタートしています。他の枠は、「役に立つこと」、「初めて分かったこと」など、子どもたちの発想から調べたことや考えたことなどをまとめられるようにしています。子どもたちの自由度の高いワークシートです。

○編集後記・まとめ・感想について

ワークシート1・2の最後のこのコーナーでは、子どもたちがワークシートの振り返りをします。ワークシートを仕上げた気持ちや、改めて一番印象に残ったところなどを記入します。

